



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

岡山県 岡山市立岡山後楽館中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和4年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- **目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- **事業名** : JOCオリンピック教室
- **主催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会（JOC）
- **後援** : スポーツ庁
- **協力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- **対象** : 中学2年生
- **講師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- **期間** : 2022年4月～2023年3月 ※原則、平日開催
- **実施校数** : 80校程度
- **実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、
分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、
今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した
自己紹介



オリンピック自身の経験に基づき「
オリンピックの価値」等を
伝える



個人またはグループワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

- **オリンピック**：高平 慎士 先生（陸上競技／短距離）
【出場オリンピック／アテネ2004大会、北京2008大会、ロンドン2012大会】
- **期 日**：2022年10月5日(水)
- **ク ラ ス**：2年A組／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操



- 陸上競技／短距離でオリンピック3大会に出場したと自己紹介。オリンピックバリューの3つの価値について、エクセレンス：「卓越」「一生懸命頑張る」、フレンドシップ：「仲間」「チームワーク」、リスペクト：「敬意/尊重」「感謝する」と説明し、オリンピックに出場した選手だけのものではなく、学校生活等、皆の日常生活に置き換えて考えることもできるオリンピックバリューを運動の時間も意識して取り組んでほしいと授業の目的を伝える。

○主運動 等



- 準備運動として、2人組でじゃんけんし、勝ちまたは負けて指定された生徒が相手の周りを指定の動きで1周し元の位置に戻る「体を使ったじゃんけん」を実施(全4回)。各回じゃんけんの方法を変更して行った。また、2列に並び、指名された列の生徒が、もう一方の列の生徒を追い掛ける「追い掛けっこゲーム」を実施。各列に高平先生が名前を付け、その名前に似た掛け声を交えながら実施した。
- 主運動として「ボール取りゲーム」を実施(全4回)。中央にボールを置き、ボールを囲う四隅に置かれたフラフープを各班の陣地とし、実施4班、見学2班でローテーションして実施。各回実施前に設けた作戦タイムでは、走る際の工夫や班内での指示の出し方等を考える。



- 運動の時間を振り返り、勝つことが全てではないが、勝った班は班内でよく話し合い、走者以外の生徒が走る方向やボールのある場所を指示することでチームワークが上手に取れていたことが勝因の一つではないかと称えた。また、皆がルールを守って競い合った結果の勝敗であることに意味があり、スポーツだけではなく、学校の校則や社会のルールは生活を豊かにするために必要であるため、ルールを守ることが大切であることを伝えてほしい。座学の時間は、運動の時間に感じたオリンピックバリューについて皆で振り返り、さらに考える時間にしたいと伝え、授業終了。

- **オリンピック**：高平 慎士 先生（陸上競技／短距離）
【出場オリンピック／アテネ2004大会、北京2008大会、ロンドン2012大会】
- **期 日**：2022年10月5日(水)
- **ク ラ ス**：2年A組／座学の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ オリンピックの価値を伝える



- ・北京2008大会に出場した際の映像を見せ、この大会の後、1位だった国のドーピング違反が発覚したことにより、日本の順位が繰り上がり、2位となったことを話し、ルールを守ることの大切さを伝えた。
- ・アメリカで指導を受けたコーチとの関係性や、様々な人の支えのおかげでオリンピックを目指すことができたこと、国際大会に出場することで学んだ異文化等、オリンピックに出場するまでの過程で多くの事を学び、感じたこととオリンピックバリューに当てはめて話した。

○個人ワーク ～ グループワーク 等



発問：自分にとってのフレンドシップについて考えてみよう。

発表：エクセレンス：「勝負する前から諦めない」「お互いに敬意を払い、努力し合える」「お互いに成長できる」等

フレンドシップ：「価値観が合う」「何でも言い合える」「良くないことは注意できる」等

リスペクト：「気配りができる」「頑張りを認め合える」「相手を思いやることができる」等



- ・座学の時間を振り返り、フレンドシップを中心に様々な意見を出し合ってもらったが、今後の人生において、お互いに意見を出し合うことは大切であり、何事もその積み重ねで成り立っていること、ひとつひとつを当たり前と感じず、感謝の気持ちを持つことが大切である。夢や目標を持つことで日々価値観が変化していき、夢や目標の達成に繋がる。今後の学校生活等を通し、自分の可能性を広げ、自分のなりたいものになってほしいと伝え、授業終了。

- **オリンピック**：高平 慎士 先生（陸上競技／短距離）
【出場オリンピック／アテネ2004大会、北京2008大会、ロンドン2012大会】
- **期 日**：2022年10月5日(水)
- **ク ラ ス**：2年B組／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操

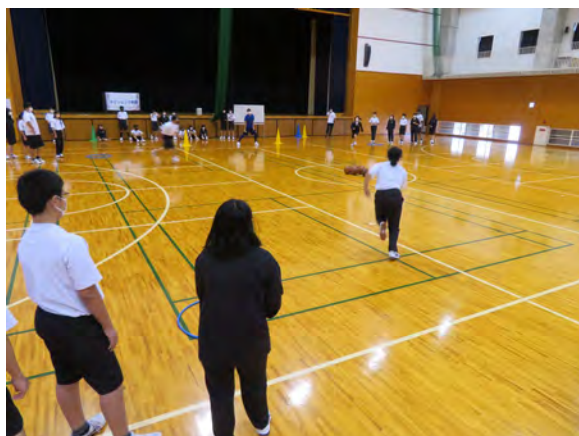


- 陸上競技／短距離でアテネ2004大会、北京2008大会、ロンドン2012大会に出場したと自己紹介。オリンピックバリューの3つの価値について、イクセレンス：「卓越」「一生懸命頑張る」、フレンドシップ：「仲間」「チームワーク」、リスペクト：「敬意/尊重」「感謝する」と説明し、これらを意識して取り組むことでオリンピックの価値観に触れ、皆にとっても身近なものだということを考える時間にしたいと授業の目的を伝える。

○主運動 等



- 準備運動として、2人組でじゃんけんし、勝ちまたは負けて指定された生徒が相手の周りを指定の動きで1周し元の位置に戻る「体を使ったじゃんけん」を実施(全4回)。各回じゃんけんの方法を変更し行った。また、2列に並び指名された列の生徒が、もう一方の列の生徒を追い掛ける「追い掛けっこゲーム」も実施。各列に高平先生が名前を付け、その名前に似た掛け声を交えながら実施した。
- 主運動として、「ボール取りゲーム」を実施(全4回)。中央にボールを置き、ボールを囲う四隅に置かれたフラフープを各班の陣地とし、実施4班、見学2班でローテーションして実施。各回実施前に設けた作戦タイムでは、素早くボールを取りに行くために走順や指示の出し方等を考える。



- 運動の時間を振り返り、皆がルールを守った上で競い合った結果、負けた人があるからこそ勝った人の価値も生まれる。負けた班は悔しかったと思うが、全力を尽くし最後まで取り組んでいた姿は素晴らしかった。何事もトライすること、チャレンジすることを忘れてないでほしい。座学の時間は、運動の時間に感じたオリンピックバリューについて振り返りながら皆で考える時間にしたいと伝え、授業終了。

- **オリンピック**：高平 慎士 先生（陸上競技／短距離）
【出場オリンピック／アテネ2004大会、北京2008大会、ロンドン2012大会】
- **期 日**：2022年10月5日(水)
- **ク ラ ス**：2年B組／座学の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ オリンピックの価値を伝える



- 北京2008大会に出場した際の映像を見せ、この大会の後に1位だった国のドーピング違反が発覚し、日本の順位が繰り上がり、2位になったことを話し、ルールを守ることの大切さを伝えた。
- 自身は競技に打ち込んだ約24年間、週5日のトレーニングを続けたことが頑張ったことの一つだと話し、学校に毎日通う等、皆が当たり前のように日々行っていることは、決して簡単なことではなく、すべてが皆の頑張りにある。自分自身の頑張りを褒めることを忘れてほしいと伝えた。

○個人ワーク ～ グループワーク 等



- 発問：自分にとってのフレンドシップについて考えてみよう。
- 発表：エクセレンス：「協力し支え合える」「苦難を共に乗り越えられる」「共に目標を目指し取り組む」等
フレンドシップ：「嬉しいことがあった時、隣で笑い合える」「気持ちを支えられる」「切磋琢磨できる」等
リスペクト：「お互いを尊敬し高め合える関係」「自分のことだけではなく皆のことでも考えられる」「頑張っている人を応援する」等



- 座学の時間を振り返り、これからの生活の中で大切なことを言語化し、言葉として見つげられることは非常に大事なことであり、夢や目標を持ち、達成に向け進む中で日々価値観が変化することは重要であり、その価値観の変化や違いをお互いに尊重し合える人に成長してほしい。
- オリンピックバリューは、決して特別なことではなく、日々の生活に溶け込んでいることを忘れず、それぞれのステージで活躍してほしいと伝え、授業終了。

・2年A組



・2年B組



■ 記念品贈呈

・2年A組



・2年B組



■ 修了証贈呈

